

神は・・・永遠を思う心を人に与えられる。(コヘレト 3:11)

ヨハネによる福音書 6章34~40節

「命のパンに生かされる」



わたしが命のパンである。(35)

わたしのもとに来る者は決して飢えることがなく、
わたしを信じる者は決して渴くことがない。(35)

犬養 道子

いぬかい みちこ

1921～2017年

五・一五事件で暗殺された犬養毅首相の孫。

評論家、思想家、カトリック聖書学者・神学者。

難民、飢餓、環境の諸問題に積極的に取り組んだ。



筆者は・・・つよい、やみがたい、無限・不滅への希求は、どこの土地の人の心中にもあることを、経験として体験として知った。

共通する希求を持っているということは、「その希求を満たす者・・・」が「在るから」ではなかろうか。「満たす者」からいまはなれた状態にわれわれがいるから、ではないか。

ヤーウェとか「在る者」とかのなじみの薄い単語を「人の心をとこしえに満たす者がいつもある」と置きかえてみたら、日本人にとっても身近になるのではないだろうか。

魂の死。

心のくらやみ。

この「死」の方が実はからだの死よりずっとおそろしい。

この、おそろしい死は、神の創造によるものでないと 聖書は書くのである。

・・・人間が、どこかへ行ってしまった。だから、さがしにゆかねばならない。



わたしたちは落胆しません。

たとえわたしたちの「外なる人」は衰えていくとしても、

わたしたちの「内なる人」は日々新たにされていきます。(Ⅱコリント 4:16)

わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。(Ⅱコリント 4:18)

〔わたしの好きなみことば〕

人はパンだけで生きるものではない。神の口から出る一つ一つの言葉で生きる。

— マタイによる福音書 4章4節

*戦後の混乱期に3人の子と生きることの辛^{つら}さを味わいながらの日々の中に（夫は戦死）神への信頼と希望を支えに母子共に生かされて今日あることを只々^{ただただ}感謝です。 常野 トキ

人の子は、失われたものを捜して救うために来たのである。

— ルカによる福音書 19章10節

*少し落ち込むことがあったとき、「本当に神様はいるのか」「イエス様はついていてくれるのか」と不安になるときがありました。しかし、この聖句を含むイエスとザアカイとのやりとりからは、神の恵みが豊かにあることを感じます。 大和 泰彦

真理はあなたたちを自由にする。

— ヨハネによる福音書 8章32節

*出口が見えにくい時の支えとなっている。言うまでもなく、真理はイエス・キリストであり、イエスに従うときにのみ、本当の納得と解放が得られる。 山岡 三治

*ナチ政権が登場する頃、ボンヘッファーがこの聖句にもとづいて、時代の流れに敢然と抗する説教をしています。それは、のちにフライブルク大学総長としてヒトラーを支持したハイデガーの哲学に対決するものでした。 宮田 光雄

われ平安^{なんぢ}を汝^{のこ}らに遺^{あた}す、わが平安を汝^{あた}らに與^{ごと}ふ。わが與^{ごと}ふるは世の與^{ごと}ふる如くならず、汝ら心を騒^{おそ}がすな、また懼^{おそ}るな。 — ヨハネ傳福音書 14章27節（文語訳）

*得体の知れない不安なかたまりに胸を圧されていた少女時代のある夕べ、教会の灯を見た時、このみことばがありありと浮かび、せつかく与えられた“平安”を享受していない自分を、神さまに申し訳なく感じたのでした。 木崎 さと子

すると主は、「わたしの恵みはあなたに十分である。力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ」と言われました。だから、キリストの力がわたしの内に宿るように、むしろ大いに喜んで自分の弱さを誇りましょう。それゆえ、わたしは弱さ、侮辱、窮乏、逼迫、そして行き詰まりの状態にあっても、キリストのために満足しています。なぜなら、わたしは弱いときにこそ強いからです。 — コリントの信徒への手紙 二 12章9～10節

*私が学生時代（23、4歳）アメリカで孤独の中で、自らの信仰^{みづか}をうたがひ、祈れなくなったときがありました。この聖句で立ち直りました。 喜田川 信

わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、力あるものも、高い所にいるものも、低い所にいるものも、他のどんな被造

物も、わたしたちの主キリスト・イエスによって示された神の愛から、わたしたちを引き離すことはできないのです。 — ローマの信徒への手紙 8章38～39節

*パウロの宣教の旅路を巡礼したとき、この言葉がずっと心に浮かびました。 小高 毅

(日本聖書協会編『わたしの好きなみことば：心を自由にする聖書の言葉』日本聖書協会、2007年より)

